



PRESS RELEASE

AIG
175 Water Street,
New York, NY 10038
www.aig.com

本稿は2021年8月5日、AIG米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。
本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。
原文の発信日付で、AIGジャパンのホームページに掲載しています。

AIG、2021年第2四半期の決算を公表

- ◆ 損害保険事業部門の正味収入保険料は前年同期比24%増加。コマーシャル・ラインおよび個人向け損害保険がそれぞれ同16%、同45%増加。
- ◆ 希薄化後普通株式1株当たり純利益は0.11ドルを計上。これに対して、前年同期は9.15ドルの純損失。AIG 普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの調整後税引後利益*（AATI）は1.52ドルを計上。これに対して、前年同期は0.64ドルの利益。
- ◆ 2021年7月14日、AIGはブラックストーン社と戦略的パートナーシップを締結。同社はAIGの生命保険および退職給付事業部門の9.9%権益を現金22億ドルで購入し、将来的に生命保険および退職給付事業部門の特定資産を運用し、またこれとは別に、現金51億ドルでアフォーダブル・ハウジング資産を購入することに同意。
- ◆ AIG取締役会は自社株買い戻し承認額を、従前の承認額残額の約9億ドルを含め、60億ドルに引き上げ。

2021年第2四半期の特筆事項

- 損害保険事業部門の調整後税引前利益（APTI）12億ドルは保険引受業績の改善および正味投資利益の増加を反映。コンバインド・レシオは前年同期比13.5ポイント改善の92.5。大規模自然災害損失（再保険および復活保険料調整後）の減少が主因。
- 損害保険事業部門の保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ*は91.1、北米および北米外のコマーシャル・ラインの保険引受業績の改善により、前年同期から3.8ポイント改善。
- 生命保険および退職給付事業部門のAPTIは堅調な正味投資利益および市場環境の改善を反映して11億ドルを計上。2021年第2四半期の生命保険および退職給付事業部門の調整後セグメント普通株主資本利益率*は年率16.4%。
- AIG 普通株主に帰属する純利益は9,100万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.11ドルを計上。これに対して、前年同期は、フォーティテュード・グループ・ホールディングス LLC（フォーティテュード）の売却損を含め、79億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは9.15ドルの純損失。GAAPと調整後税引後利益の主たる相違は、フォーティテュードの正味投資利益および一部の実現損益の会計処理。
- AATIは13億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.52ドルを計上。これに対して、前年同期は5億6,100万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.64ドルの利益。
- 2021年6月30日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは76.73ドルで、2020年12月31日時点から0.4%増加。調整後普通

株式 1 株当たりブック・バリューは*60.07 ドルで、2020 年 12 月 31 日時点から 5.4%増加。調整後普通株式 1 株当たり有形ブック・バリューは*54.24 ドルで、2020 年 12 月 31 日時点から 6.0%増加。

- 2021 年第 2 四半期の普通株主資本利益率 (ROCE) および調整後 ROCE*はそれぞれ年率 0.6%、10.5%。
- 2021 年 7 月 14 日、AIG はブラックストーン・グループ (ブラックストーン) と戦略的パートナーシップを締結したと発表。ブラックストーンは AIG の生命保険および退職給付事業部門の 9.9%権益を現金 22 億ドルで購入することに同意、将来的に生命保険および退職給付事業部門の特定資産を運用する戦略的資産管理関係を構築、さらに現金約 51 億ドルで米アフォードブル・ハウジングポートフォリオに対する AIG の権益を取得することに同意。

*一般に公正妥当と認められた会計原則に従って計算されていない (非GAAP) 財務指標を指しています。非GAAP財務指標の定義および最も近いGAAP指標への調整については、本ニュースリリースの「レギュレーションおよび非GAAP財務指標に関する注釈」の見出しの項をご覧ください。

2021年8月5日 (ニューヨーク発) : アメリカン・インターナショナル・グループ・インク (ニューヨーク証券取引所取引銘柄 : AIG) は本日、2021年6月30日までの第2四半期の業績を発表しました。

AIGの社長兼最高経営責任者 (CEO) のピーター・ザッフィーノは次のように述べました。

「今期も極めて好調な決算となりました。各事業部門のパフォーマンスは極めて良好で、戦略的優先事項について大きな進展を見せ、AIGを長期的に利益を伴う持続可能な成長に位置付け続けました。損害保険事業部門は素晴らしい業績を実現、生命保険および退職給付事業部門も再び有意義な貢献をしてくれ、当社はAIG 200ならびに、生命保険および退職給付事業部門のAIGからの分離に関する作業を加速させました。」

「このような非常に優れたパフォーマンスは世界各地のAIGの社員たちの勤勉さと献身によるものです。社員たちはAIGが行うあらゆる面で質を確保し、お客様、ディストリビューション・パートナー、株主およびその他のステークホルダーに大きな価値を届けることに注力し続けています。」

「損害保険事業部門では、契約更改の改善、極めて高水準の新規契約獲得、料率改善の継続を主因に、正味収入保険料が前年同期比24%増の目覚ましい伸びを実現しました。また、今期も引受収益は堅調で、コンバインド・レシオは大規模自然災害損失を含めて92.5、調整後では91.1となり、2020年第2四半期の調整後コンバインド・レシオから380ベース・ポイント改善しました。」

「生命保険および退職給付事業部門では、投資リターンおよび市場環境改善を主因に、調整後税引前利益が26%増の11億ドルとなりました。」

「7月に、当社はブラックストーンとの戦略的パートナーシップを発表しました。ブラックストーンは生命保険および退職給付事業部門の9.9%権益を現金 22億ドルで購入し、生命保険および退職給付事業部門の一般勘定特定資産の運用を行います。この投資額は目標推定調整後ブック・バリューの1.1倍を表しており、生命保険および退職給付事業部門の業界におけるリーディング・ポジションを確認するものです。加えて、ブラックストーン傘下の長期パーペチュアル投資会社が当社のアフォードブル・ハウジング資産の一部を現金51億ドルで購入します。」

「これらの取引は、6月30日時点で72億ドルに達する強固な流動性ポジションとあいまって、債務削減、資本の株主還元および有機的成長への投資という短期的な資本管理優先事項に投入すべき多額の追加資金をAIGにもたらします。」

「強固なバランスシートおよび流動性に鑑み、AIG取締役会は現行の自社株買い戻し承認額を、従前の承認額残額の約9億ドルを含め、60億ドルに引き上げました。2021年下半期に少なくとも普通株式20億ドルを買い戻すとともに、債務残高を25億ドル削減する予定です。」

「2021年下半期に向かうにあたり、AIGは素晴らしいモメンタムを有しています。私はAIGが変革と成長の戦略の実行を継続することを確認しています。私は私たちのチームが達成したこと、そしてトップクラスの業績を誇る企業になるための道のりにおける進展を非常に誇りに思っています。」

2021年第2四半期は、AIG 普通株主に帰属する純利益9,100万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.11ドルを計上しました。これに対して、前年同期はAIG 普通株主に帰属する純損失が79億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは9.15ドルの損失でした。この利益の増加の主因は、2020年6月2日のフォーティテュードの売却および非連結化による損失84億ドルの認識、正味実現損失の大幅減少、正味投資利益の増加、大規模自然災害損失（再保険調整後）（CAT）の大幅減少、および損害保険事業部門の全般的に堅調な保険引受業績が主因でした。税引前のこれらの増加は法人所得税費用の増加19億ドルに部分的に相殺され、うち17億ドルは2020年のフォーティテュード非連結化に係る優遇税制に起因するものでした。

2021年第2四半期のAATIは13億ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは1.52ドルとなりました。これに対して、前年同期のAATIは5億6,100万ドル、希薄化後普通株式1株当たりでは0.64ドルでした。AATI増加の主因はCATの大幅減少と損害保険事業部門の全般的に堅調な保険引受業績でした。

2021年第2四半期の連結正味投資利益総額は37億ドルで、前年同期の34億ドルから9%増加しました。増加の主因は堅調なプライベート・エクイティのリターン増加でしたが、これは公正価値オプション（FVO）債券の利益減少により部分的に相殺されました。APTIベースの正味投資利益総額*32億ドルは前年同期に比べ1,600万ドル減少しました。これには売却完了前のフォーティテュード資産に係る2ヶ月分の投資利益に関連する3億7,800万ドルが含まれていません。この金額を除外すると、2021年第2四半期のAPTIベースの正味投資利益総額は、プライベート・エクイティのリターン増加を反映して、13%、3億6,200万ドル増加しました。

2021年6月30日時点の普通株式1株当たりブック・バリューは76.73ドルとなり、その他の包括利益累計額の変動を主因に、2020年12月31日時点から0.4%、2021年3月31日時点から6.0%、それぞれ増加しました。調整後普通株式1株当たりブック・バリューは60.07ドルとなり、2020年12月31日時点から5.4%、2021年3月31日時点から2.4%、それぞれ増加しました。配当金および自社株買い戻しを上回る純利益からの留保利益の増加を反映したものです。調整後普通株式1株当たり有形ブック・バリューは54.24ドルで、2020年12月31日時点から6.0%、2021年3月31日時点から2.6%、それぞれ増加しました。

2021年6月30日時点のAIGの親会社流動資産は約72億ドルでした。AIGは2021年第2四半期にAIG普通株式約500万株を購入価額総額2億3,000万ドルで買い戻し、2021年上半期に5億ドルを買い戻すという従来のコミットメントを完遂しました。2021年8月3日、AIG取締役会は自社株買い戻し承認額を、従

前の承認額残額の約9億ドルを含め、60億ドルに引き上げました。加えて、2021年第2四半期にAIGはキャッシュ・テNDER・オファーを通じて、AIGが発行または保証したノートおよび債券の一部の元本総額2億5,400万ドルを購入価額総額3億5,900万ドルで買い戻し、消却しました。2021年6月30日時点のAIGの債券および優先株式の総額レバレッジは27.0%でした。

本日、AIG取締役会は1株当たり額面価格2.50ドルのAIG普通株式（NYSE: AIG）の1株当たり0.32ドルの四半期配当金を発表しました。この配当金は2021年9月16日の業務終了時に登録されている株主に対して2021年9月30日に支払われます。

また、AIG取締役会は残余財産優先分配権1株当たり2万5,000ドルのシリーズA 利率5.85%非累積永久優先株式の1株当たり365.625ドルの四半期配当金を発表しました。これは預託株式（NYSE: AIG PRA）の形で表わされ、各預託株式は優先株式1株につき権益の1,000分の1を表しています。預託株式保有者は預託株式1株当たり0.365625ドルを受領します。この配当金は2021年8月31日の業務終了時に登録されている保有者に対して2021年9月15日に支払われます。

2021年第2四半期の業績概要

	6月30日までの3ヶ月間	
	2021	2020
(単位：百万米ドル、1株当たりの額を除く)		
AIG普通株主に帰属する純利益（損失）	\$ 91	\$ (7,936)
AIG普通株主に帰属する希薄化後1株当たりの純利益（損失）	\$ 0.11	\$ (9.15)
調整後税引前利益（損失）：	\$ 1,708	\$ 791
損害保険事業部門	1,194	175
生命保険および退職給付事業部門	1,124	895
その他の事業	(610)	(279)
正味投資利益	\$ 3,675	\$ 3,366
正味投資利益(APTIベース)	3,182	3,198
AIG普通株主に帰属する調整後税引後利益	\$ 1,331	\$ 561
AIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり調整後税引後利益	\$ 1.52	\$ 0.64
加重平均発行済み普通株式数 - 希薄化後（単位：百万株）	872.9	867.0
普通株主資本利益率	0.6	% NM
調整後普通株主資本利益率	10.5	% 4.5 %

(単位：百万米ドル、指示されている場合を除く)	6月30日までの3ヶ月間	
	2021	2020
普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 76.73	\$ 71.68
調整後普通株式1株当たりブック・バリュー	\$ 60.07	\$ 55.90
発行済み普通株式数 (単位：百万株)	854.9	861.4

(a) 損失を計上している期間については、基本平均発行済み普通株式数を用いてAIG普通株主に帰属する希薄化後普通株式1株当たり純利益（損失）を計算しています。希薄化後株式は、2020年6月30日までの3ヶ月間の基本株式を示しています。AIGが同期間に継続事業部門からのAIG普通株主に帰属する純損失を計上したためです。

別段の記載がない限り、比較はすべて、2020年第2四半期に対するものです。詳細については、AIG ウェブサイトの投資家向けセクションに掲載されている2021年第2四半期追加財務情報をご参照ください。

損害保険事業部門

(単位：百万米ドル)	6月30日までの3ヶ月間			
	2021	2020	増減	
総収入保険料	\$ 9,503	\$ 8,474	12	%
正味収入保険料	\$ 6,860	\$ 5,549	24	%
北米	3,156	2,153	47	
北米コマーシャル・ライン	2,655	2,303	15	
北米個人向け損害保険	501	(150)	NM	
北米外	3,704	3,396	9	
北米外コマーシャル・ライン	2,062	1,769	17	
北米外個人向け損害保険	1,642	1,627	1	
保険引受利益（損失）	\$ 463	(343)	NM	%
北米	169	(439)	NM	
北米コマーシャル・ライン	162	(405)	NM	
北米個人向け損害保険	7	(34)	NM	
北米外	294	96	206	
北米外コマーシャル・ライン	218	7	NM	
北米外個人向け損害保険	76	89	(15)	
正味投資利益(APTIベース)	\$ 731	\$ 518	41	%
調整後税引前利益	\$ 1,194	\$ 175	NM	%
調整後セグメント普通株式利益率	12.3	% 0.3	12.0	pts
引受に関する比率:				
北米コンバインド・レシオ(CR)	93.7	117.8	(24.1)	pts
北米コマーシャル・ライン CR	93.0	119.4	(26.4)	
北米個人向け損害保険 CR	98.1	108.7	(10.6)	
北米外CR	91.8	97.1	(5.3)	
北米外コマーシャル・ラインCR	88.7	99.5	(10.8)	
北米外個人向け損害保険CR	95.2	94.3	0.9	
損害保険事業部門CR	92.5	106.0	(13.5)	

6月30日までの3ヶ月間

(単位：百万米ドル)	2021	2020	増減	
損害保険事業部門(GI)損害率	61.3	72.6	(11.3)	pts
控除：損害率に対する影響：				
大規模自然災害による損失および復活保険料	(2.1)	(11.9)	9.8	
前年以前事故発生年度の当年度発生保険金	0.7	0.8	(0.1)	
GI保険事故年度の調整済み損害率	59.9	61.5	(1.6)	
GI事業費率	31.2	33.4	(2.2)	
GI保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ	91.1	94.9	(3.8)	
保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオ(AYCR)：				
北米 AYCR	92.4	98.6	(6.2)	pts
北米コマーシャル・ライン 調整済みAYCR	91.2	97.4	(6.2)	
北米個人向け損害保険 調整済みAYCR	100.1	104.8	(4.7)	
北米外コンバインド・レシオ AYCR	90.2	92.1	(1.9)	
北米外コマーシャル・ライン調整済み AYCR	86.9	90.6	(3.7)	
北米外個人向け損害保険 調整済みAYCR	94.0	93.5	0.5	

損害保険事業部門

- 2021年第2四半期の正味収入保険料は前年同期比24%（実質ベースでは20%）増の69億ドルとなりました。北米コマーシャル・ラインおよび北米外コマーシャル・ラインがそれぞれ15%、17%（実質ベースでは10%）増の堅調を示したことが主因で、保険料率の堅調な改善、契約更改率の上昇および新規事業の堅調な生成を反映したものです。加えて、北米の個人向け損害保険正味収入保険料の増加は、2020年第2四半期のAIGのプライベート・クライアント・グループ（PCG）事業に設定した「シンジケート2019」創設と譲渡の複合的影響およびトラベル活動の回復と消費支出の増加を主因とするトラベルおよびワランティー事業の増加を反映したものです。北米外の個人向け損害保険正味収入保険料は前年同期比1%（実質ベースでは2%）増加しました。医療・傷害保険および個人向け自動車保険事業における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響ならびに個人向け財物保険の改善が主因でしたが、これはワランティー事業の増加で部分的に相殺されました。
- 2021年第2四半期のAPTIは12億ドルで、保険引受業績の大幅改善および正味投資利益の増加により、前年同期の1億7,500万ドルから10億ドル増加しました。2021年第2四半期の保険引受利益は4億6,300万ドルとなりました。これに対して、前年同期は3億4,300万ドルの保険引受損失でした。正味投資利益はオルタナティブ投資を主因に前年同期比41%増の7億3,100万ドルとなりました。引受利益にはCAT1億1,800万ドルが含まれています。これに対して、前年同期のCATは6億7,400万ドルで、これにはCOVID-19による推定損失4億5,800万ドルが含まれていました。また、当期は正味前年以前事故年度の当年度発生戻入金（再保険調整後）（PYD）5,100万ドルも含まれていますが、これには前年同期比

2,300 万ドル減少した「アドバース・ディベロプメント・カバー（ADC）」の有利な償却 4,900 万ドルが含まれます。

- 損害保険事業部門の引受業績が引き続き改善、コンバインド・レシオは 92.5 となり、コマーシャル・ラインおよび個人向け損害保険事業を主因に、前年同期の 106.0 から 13.5 ポイント改善しました。この改善は、損害率および事業費率のそれぞれ 11.3 ポイント、2.2 ポイントの改善を主因とする、CAT の大幅減少および全般的に堅調な保険引受業績を反映したものです。損害保険事業部門の保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは 91.1 で、前年同期から 3.8 ポイント改善し、保険事故年度の調整済み損害率*59.9 および事業費率 31.2 から成っています。損害保険事業部門の保険事故年度の損害率は、事業構成およびポートフォリオの質の改善を目指してこれまでに講じたコマーシャル・アンダーライティング・アクションを反映して、1.6 ポイント改善しました。損害保険事業部門の総費用率は前年同期から 2.2 ポイント改善し、獲得費用率 19.1 および事業費（GOE）率 12.1 から成っています。損害保険事業部門の GOE は、費用面の規律の継続と AIG 200 の恩恵を反映して、前年同期比 2%（実質ベースで 4%）減の 7 億 5,300 万ドルとなりました。
- コマーシャル・ラインの保険引受業績は、事業構成改善およびトップラインの増加ならびに損害保険事業部門の保険引受業績好転の主因となった保険料率引上げ継続により、引き続き力強い改善を示しました。保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは北米コマーシャル・ラインが 6.2 ポイント改善の 91.2、北米外コマーシャル・ラインが 3.7 ポイント改善の 86.9 となりました。
- 個人向け損害保険の保険引受業績も、北米を中心に改善しました。北米個人向け損害保険の保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは前年同期比 4.7 ポイント改善の 100.1 となりました。AIG の PCG 事業の変更を中心とする事業構成の変化およびトラベル事業の保険料の回復によるものです。北米外個人向け損害保険の保険事故年度の調整済みコンバインド・レシオは前年同期比 0.5 ポイント上昇して 94.0 となりました。保険事故年度の調整済み損害率が前年同期比 1.9 ポイント上昇の 54.0 でしたが、これは事業費率が前年同期比 1.4 ポイント改善して 40.0 となったことで部分的に相殺されました。

生命保険および退職給付事業部門

	6月30日までの3ヶ月間		
	2021	2020	増減
(単位：百万米ドル、指示されている場合を除く)			
調整後税引前利益（損失）	\$ 1,124	\$ 895	26 %
個人向け退職給付	617	549	12
団体向け退職給付	347	214	62
生命保険	20	2	NM
機関投資家市場	140	130	8
収入保険料および手数料	\$ 2,417	\$ 2,350	3 %
個人向け退職給付	273	243	12
団体向け退職給付	134	103	30

生命保険	887	868	2
機関投資家市場	1,123	1,136	(1)

6月30日までの3ヶ月間

(単位：百万米ドル、指示されている場合を除く)

	2021	2020	増減
収入保険料および預かり資産	\$ 9,035	\$ 5,718	58 %
個人向け退職給付	3,978	1,794	122
団体向け退職給付	2,255	1,670	35
生命保険	1,161	1,119	4
機関投資家市場	1,641	1,135	45
正味フロー	\$ (306)	\$ (1,744)	82 %
個人向け退職給付*	(77)	(1,501)	95
団体向け退職給付	(229)	(243)	6
正味投資利益(APTIベース)	\$ 2,376	\$ 2,099	13 %
調整後セグメント普通株式利益率	16.4 %	13.5 %	2.9 pts

* リテール向けミューチュアル・ファンドを含みます。

生命保険および退職給付事業部門

- 2021年第2四半期に生命保険および退職給付事業部門は11億ドルのAPTIを計上、前年同期の8億9,500万ドルから26%増加しました。APTIは全てのセグメントで前年同期比増加しました。APTIの増加はプライベート・エクイティを中心とするオルタナティブ投資のリターン上昇の主因となった株式市場パフォーマンスの好影響および手数料収入増加が主因でしたが、これは繰延保険獲得費用、販売促進資産（SIA）償却および積立金の増加で部分的に相殺されました。加えて、2021年第2四半期の業績への金利およびクレジット・スプレッドの短期的な好影響が低下しました。前年同期には大幅な利回り上昇が見られた一方、今期はコールおよびテンダーならびにコマーシャル・モーゲージ融資繰上償還が増加しました。生命保険事業のAPTIは2,000万ドルとなり、前年同期の200万ドルから1,800万ドル増加しましたが、これは部分的には2021年第2四半期のCOVID-19による死亡率の低下によるものです。
- 収入保険料は前年同期比横ばいの16億ドルとなりました。北米外生命保険事業と年金リスク移転の収入保険料が増加したものの、定期金賠償制度保険料の減少により部分的に相殺されました。収入保険料および預かり資産は前年同期比58%、33億ドル増の90億ドルとなりました。COVID-19がもたらした広範な保険業界全体の販売混乱からの回復によるものです。加えて、機関投資家市場の預かり資産は2021年第2四半期における高水準の保証投資契約を主因に増加しました。
- 個人向け退職給付事業および団体向け退職給付事業の正味フローは3億600万ドルの純流出となりましたが、前年同期から14億ドルの大幅改善を示しました。リテール向けミューチュアル・ファンドを除外すると、個人

向け退職給付事業は、COVID-19がもたらした広範な保険業界全体の販売混乱からの回復を主因に、5億5,600万ドルの純流入となりました。前年同期は6億8,400万ドルの純流出でした。AIGの生命保険および退職給付事業部門の一部のリテール向けミューチュアル・ファンドのタッチストーンへの売却は2021年7月16日に完了しました。団体向け退職給付事業の正味フローは2億2,900万ドルの純流出で、前年同期の2億4,300万ドルの純流出から若干改善しました。改善は預かり資産の増加を反映したのですが、これは解約および払い戻しの増加により部分的に相殺されました。

その他の事業

(単位：百万米ドル)	6月30日までの3ヶ月間			
	2021	2020	増減	
その他投資活動等	\$ (617)	\$ (248)	(149)	%
資産運用	101	\$ (84)	NM	
連結および消去を除く調整後税引前利益	(516)	(332)	(55)	
連結および消去	(94)	53	NM	
調整後税引前損失	\$ (610)	\$ (279)	(119)	%

その他の事業

- 2021年第2四半期のAPTLは、連結および消去の減少9,400万ドルを含めて、6億1,000万ドルとなりました。前年同期のAPTLは、連結および消去の増加5,300万ドルを含め、2億7,900万ドルでした。連結および消去におけるAPTLの増加は連結投資主体の影響を反映しています。
- 連結および消去を除外すると、APTLの増加は主として、2020年第2四半期に9,600万ドルのAPTIをもたらしたフォーティテュードの2020年第2四半期における売却および非連結化を反映しています。加えて、2021年第2四半期の業績には、主としてブラックボードおよび他のランオフ事業に関連する正味前年以前事故年度の当年度発生保険金発生額（PYD）6,500万ドルおよびこれまでの堅調なパフォーマンスを反映したインセンティブ・プログラム発生金額の増加が含まれています。

生命保険および退職給付事業部門の分離

- 2020年10月26日、AIGは生命保険および退職給付事業部門をAIGから分離する方針を発表しました。
- AIGおよびブラックストーンは2021年7月14日、両社がAIGの生命保険および退職給付事業部門の持ち株会社であるSAFG リタイアメント・アンド・サービス・インク（SAFG）にブラックストーンが22億ドルを投じて9.9%出資する全額現金取引について正式契約を締結したと発表しました。ただし、最終的推定調整後ブック・バリューが目標推定調整後ブック・バリューを上回る、または下回る場合の調整を条件としています。本契約の一環として、AIGはまたブラックストーンと、上記出資完了次第生命保険および退職給付事業部門の既存投資ポートフォリオの当初金額500億ドルをブラックストーンが運用する長期戦略的資産管理関係を構築することに同意しました。2022年第3四半期または第4四半期を起点とする今

後5年間、上記金額は総額925億ドルに達するまで、年間85億ドルずつ増額されます。この取引の成立を受けて、ブラックストーンは生命保険および退職給付部門の持ち株会社の11名の取締役で構成される取締役会に取締役1名を指名する権限を有することになります。本正式契約に従って、ブラックストーンは生命保険および退職給付部門の分離完了後にSAFGに対する持ち分権の保有を義務付けられますが、SAFGの新規株式公開（IPO）のそれぞれ1年目、2年目および3年目の後にブラックストーンがその保有株式の25%、67%および75%を売却することを認める例外規定の対象となり、IPOの5年目には売却制限が全面的に終了します。SAFGのIPOが本取引成立の2年目以前に完了されない場合、ブラックストーンはAIGにIPO実施を求める権利を有し、また、IPOが本取引成立の3年目以前に完了されていない場合、ブラックストーンはSAFGの持ち分権のすべてまたは一部を本正式契約が定める条件でAIG普通株式と交換する権利を有します。これらの取引は1976年ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法に基づく待機期間の満了または終了を含む慣習的成立条件の対象であり、2021年第3四半期に成立すると予想されています。現在、AIGはIPOが生命保険および退職給付部門のAIGからの分離の次のステップであると確信していますが、将来の分離取引の取り得る形または当該取引の特定条件またはタイミング、あるいは分離取引が実際に実行されるのかなどに関しては、いかなる保証も与えることができません。いかなる分離取引もAIG取締役会の承認を含む様々な条件の充足および承認、保険およびその他の必要な規制当局の承認取得、および米証券取引委員会（SEC）の適用要件の充足を条件としています。

- 加えて、AIGおよびブラックストーン傘下の長期パーペチュアル投資会社であるBREITは、BREITがAIGの米アフォーダブル・ハウジングポートフォリオのAIG持ち分権を現金約51億ドルの一定の調整を要する全額現金取引で取得する正式契約を締結したと発表しました。本取引は慣習的成立条件の対象であり、2021年第4四半期に成立すると予想されています。

AIG グループは、世界の保険業界のリーダーであり、約80 の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。持株会社 AIG, Inc.はニューヨーク証券取引所に上場しています。

AIGの追加情報についてはwww.aig.com | You Tube : www.youtube.com/aig | Twitter : [@AIGinsurance](https://twitter.com/AIGinsurance) www.twitter.com/AIGinsurance | LinkedIn : <http://www.linkedin.com/company/aig> を参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれら参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

AIGとは、AIG, Inc.傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業ならびに一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ（www.aig.com）を参照ください。全ての商品およびサービスはAIG, Inc.傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、実際の契約に準拠します。保険以外の商品・サービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、当該基金による保証は行われません。



AIG Reports Second Quarter 2021 Financial Results

August 5, 2021

- **General Insurance net premiums written grew 24% with Commercial Lines and Personal Insurance growth of 16% and 45%, respectively, from the prior year quarter**
- **Net income per diluted share of \$0.11 compared to a loss of \$9.15 in the prior year quarter and adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders* (AATI) per diluted share of \$1.52 increased from \$0.64 in the prior year quarter**
- **On July 14, 2021 AIG entered into a strategic partnership whereby Blackstone agreed to purchase a 9.9% equity stake in AIG's Life and Retirement Business for \$2.2 billion in cash, manage specified Life and Retirement assets in the future, and separately purchase affordable housing assets for \$5.1 billion in cash**
- **AIG Board of Directors increased the share repurchase authorization to \$6.0 billion, including approximately \$0.9 billion that remained under the prior authorization**

SECOND QUARTER NOTEWORTHY ITEMS

- General Insurance adjusted pre-tax income (APTI) of \$1.2 billion reflects improved underwriting results and higher net investment income; the combined ratio was 92.5, a 13.5 point improvement from the prior year quarter primarily due to lower catastrophe losses, net of reinsurance and reinstatement premiums.
- The General Insurance accident year combined ratio, as adjusted*, was 91.1, a 3.8 point improvement from the prior year quarter due to improved North America and International Commercial Lines underwriting results.
- Life and Retirement APTI was \$1.1 billion reflecting strong net investment income and improved market conditions; Life and Retirement return on adjusted segment common equity* for the second quarter was 16.4%, on an annualized basis.
- Net income attributable to AIG common shareholders was \$91 million, or \$0.11 per diluted common share, compared to a net loss of \$7.9 billion, or \$9.15 per common share, in the prior year quarter, which included the loss on sale of Fortitude Group Holdings LLC (Fortitude). The primary difference between GAAP and adjusted after-tax income is the accounting treatment of Fortitude net investment income and certain realized gains/losses.
- AATI was \$1.3 billion, or \$1.52 per diluted common share, compared to \$561 million, or \$0.64 per diluted common share, in the prior year quarter.
- As of June 30, 2021, book value per common share was \$76.73, an increase of 0.4% from December 31, 2020. Adjusted book value per common share* was \$60.07, an increase of 5.4% from December 31, 2020. Adjusted tangible book value per share* was \$54.24, an increase of 6.0% from December 31, 2020.
- Return on common equity (ROCE) and Adjusted ROCE* were 0.6% and 10.5%, respectively, on an annualized basis for the second quarter of 2021.
- On July 14, 2021 AIG announced a strategic partnership with The Blackstone Group (Blackstone) whereby Blackstone agreed to purchase a 9.9% equity stake in AIG's Life and Retirement business for \$2.2 billion in cash, entered into a strategic asset management relationship to manage certain specified Life and Retirement general account assets in the future and agreed to acquire AIG's interests in a U.S. affordable housing portfolio for approximately \$5.1 billion in cash.

* Refers to financial measure not calculated in accordance with generally accepted accounting principles (non-GAAP); definitions of non-GAAP measures and reconciliations to their closest GAAP measures can be found in this news release under the heading Comment on Regulation G and Non-GAAP Financial Measures.

NEW YORK--(BUSINESS WIRE)--Aug. 5, 2021-- American International Group, Inc. (NYSE: AIG) today reported financial results for the second quarter ended June 30, 2021.

AIG President and CEO Peter Zaffino said: "We had another outstanding quarter with our businesses performing extremely well while we continue to make significant progress on strategic priorities and position AIG for sustainable profitable growth over the long-term. General Insurance delivered excellent results, Life and Retirement was once again a meaningful contributor, and we accelerated work on AIG 200 and the separation of Life and Retirement from AIG.

"This exceptional performance is the direct result of the hard work and dedication of AIG colleagues around the world who pursue excellence in everything we do and strive to create value for clients, distribution partners, shareholders, and our other stakeholders.

"In General Insurance, net premiums written grew by an impressive 24%, driven by improved retention, outstanding levels of new business, and continued improvement in rate. We also reported another quarter of strong underwriting profitability, with a combined ratio of 92.5 inclusive of catastrophe losses, and 91.1, as adjusted, a 380-basis point improvement from the adjusted combined ratio in the second quarter of 2020.

"In Life and Retirement, adjusted pre-tax income increased 26% to \$1.1 billion driven by investment returns and improving market conditions.

"In July, we announced a strategic partnership with Blackstone whereby Blackstone will purchase a 9.9% equity stake in Life and Retirement for \$2.2 billion in cash and manage certain specified Life and Retirement general account assets. This investment represents 1.1x of target pro forma adjusted book value and validates Life and Retirement's industry leading position. In addition, a long-term perpetual vehicle affiliated with Blackstone will purchase certain of our Affordable Housing assets for \$5.1 billion in cash.

"These transactions, together with our strong liquidity position at June 30 of \$7.2 billion, will generate significant additional capital for AIG to deploy towards our near term capital management priorities, which are de-levering, returning capital to shareholders, and investing in organic growth.

"Given our strong balance sheet and liquidity, the AIG Board of Directors increased our current share buyback authorization to \$6 billion, inclusive of the approximately \$900 million that was remaining under the prior authorization. In the second half of 2021, we expect to repurchase at least \$2 billion in common stock and reduce debt outstanding by \$2.5 billion.

"We have incredible momentum as we head into the second half of the year and I am confident that we will continue to execute on our transformation and growth strategy. I am immensely proud of what our team has achieved and the progress we are making on our journey to become a top performing company."

For the second quarter of 2021, net income attributable to AIG common shareholders was \$91 million, or \$0.11 per diluted common share, compared to a net loss of \$7.9 billion, or \$9.15 per common share, in the prior year quarter. The increase was primarily due to the recognition of an \$8.4 billion loss from the sale and deconsolidation of Fortitude on June 2, 2020; lower net realized losses; higher net investment income; significantly lower catastrophe losses, net of reinsurance (CATs); and overall strong General Insurance underwriting results. These pre-tax increases were partially offset by \$1.9 billion higher income tax expense with \$1.7 billion attributable to the tax benefit on the deconsolidation of Fortitude in 2020.

AATI was \$1.3 billion, or \$1.52 per diluted common share, for the second quarter of 2021 compared to \$561 million, or \$0.64 per diluted common share, in the prior year quarter. The increase was primarily due to significantly lower CATs and overall strong General Insurance underwriting results.

Total consolidated net investment income for the second quarter of 2021 was \$3.7 billion, up 9% from \$3.4 billion in the prior year quarter primarily due to strong private equity returns, partially offset by lower gains on fair value option bonds. Total net investment income on an APTI basis* was \$3.2 billion, a decrease of \$16 million compared to the prior year quarter, which included \$378 million related to two months of investment income on Fortitude assets prior to the sale's close. Excluding this amount, second quarter 2021 total net investment income on an APTI basis increased 13%, or \$362 million, reflecting higher private equity returns.

Book value per common share was \$76.73 as of June 30, 2021, an increase of 0.4% from December 31, 2020 and 6.0% from March 31, 2021, primarily due to changes in accumulated other comprehensive income. Adjusted book value per common share was \$60.07, an increase of 5.4% from December 31, 2020 and 2.4% from March 31, 2021 reflecting growth in retained earnings from net income in excess of dividends and share repurchases. Adjusted tangible book value per share was \$54.24, an increase of 6.0% from December 31, 2020 and 2.6% from March 31, 2021.

As of June 30, 2021, AIG Parent liquidity was approximately \$7.2 billion. AIG repurchased approximately 5 million shares of AIG common stock during the second quarter for an aggregate purchase price of \$230 million, completing our prior commitment to repurchase \$500 million in the first half of 2021. On August 3, 2021, AIG's Board of Directors increased the Company's share repurchase authorization to \$6.0 billion, inclusive of the approximately \$0.9 billion that remained under the prior share repurchase authorization. Additionally, in second quarter of 2021 AIG repurchased, through cash tender offers, and canceled, approximately \$254 million aggregate principal amount of certain notes and debentures issued or guaranteed by AIG for an aggregate purchase price of approximately \$359 million. AIG's total debt and preferred stock to total capital leverage at June 30, 2021 was 27.0%.

Today, the AIG Board of Directors declared a quarterly cash dividend of \$0.32 per share on AIG Common Stock (NYSE: AIG), par value \$2.50 per share. The dividend is payable on September 30, 2021 to stockholders of record at the close of business on September 16, 2021.

The AIG Board of Directors also declared a quarterly cash dividend of \$365.625 per share on AIG Series A 5.85% Non-Cumulative Perpetual Preferred Stock, with a liquidation preference of \$25,000 per share, which is represented by depositary shares (NYSE: AIG PRA), each representing a 1/1,000th interest in a share of preferred stock. Holders of depositary shares will receive \$0.365625 per depositary share. The dividend is payable on September 15, 2021 to holders of record at the close of business on August 31, 2021.

FINANCIAL SUMMARY

	Three Months Ended	
	June 30,	
	2021	2020
<i>(\$ in millions, except per common share amounts)</i>		
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 91	\$ (7,936)
Net income (loss) per diluted share attributable to		
AIG common shareholders (a)	\$ 0.11	\$ (9.15)
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 1,708	\$ 791
General Insurance	1,194	175
Life and Retirement	1,124	895
Other Operations	(610)	(279)
Net investment income	\$ 3,675	\$ 3,366
Net investment income, APTI basis	3,182	3,198
Adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders	\$ 1,331	\$ 561
Adjusted after-tax income per diluted share attributable to AIG common shareholders	\$ 1.52	\$ 0.64
Weighted average common shares outstanding - diluted (in millions) (a)	872.9	867.0
Return on common equity	0.6	% NM
Adjusted return on common equity	10.5	% 4.5 %
Book value per common share	\$ 76.73	\$ 71.68

Adjusted book value per common share \$ 60.07 \$ 55.90

Common shares outstanding (in millions) 854.9 861.4

(a) For periods reporting a loss, basic average common shares outstanding are used to calculate net income (loss) per diluted share attributable to AIG common shareholders. Diluted shares represent basic shares for the three-month period ended June 30, 2020 because we reported a net loss attributable to AIG common shareholders from continuing operations in that period.

All comparisons are against the second quarter of 2020, unless otherwise indicated. Refer to the AIG Second Quarter 2021 Financial Supplement, which is posted on AIG's website in the Investors section, for further information.

GENERAL INSURANCE

(\$ in millions)	Three Months Ended		
	June 30,		
	2021	2020	Change
Gross premiums written	\$ 9,503	\$ 8,474	12 %
Net premiums written	\$ 6,860	\$ 5,549	24 %
North America	3,156	2,153	47
North America Commercial Lines	2,655	2,303	15
North America Personal Insurance	501	(150)	NM
International	3,704	3,396	9
International Commercial Lines	2,062	1,769	17
International Personal Insurance	1,642	1,627	1
Underwriting income (loss)	\$ 463	\$ (343)	NM %
North America	169	(439)	NM
North America Commercial Lines	162	(405)	NM
North America Personal Insurance	7	(34)	NM
International	294	96	206
International Commercial Lines	218	7	NM
International Personal Insurance	76	89	(15)
Net investment income, APTI basis	\$ 731	\$ 518	41 %
Adjusted pre-tax income	\$ 1,194	\$ 175	NM %
Return on adjusted segment common equity	12.3 %	0.3 %	12.0 pts

Underwriting ratios:

North America Combined Ratio (CR) 93.7 117.8 (24.1) pts

North America Commercial Lines CR	93.0	119.4	(26.4)
North America Personal Insurance CR	98.1	108.7	(10.6)
International CR	91.8	97.1	(5.3)
International Commercial Lines CR	88.7	99.5	(10.8)
International Personal Insurance CR	95.2	94.3	0.9
General Insurance (GI) CR	92.5	106.0	(13.5)
GI Loss ratio	61.3	72.6	(11.3) pts
<i>Less: impact on loss ratio</i>			
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.1)	(11.9)	9.8
Prior year development	0.7	0.8	(0.1)
GI Accident year loss ratio, as adjusted	59.9	61.5	(1.6)
GI Expense ratio	31.2	33.4	(2.2)
GI Accident year combined ratio, as adjusted (AYCR, as adjusted)	91.1	94.9	(3.8)
Accident year combined ratio, as adjusted (AYCR, as adjusted):			
North America AYCR, as adjusted	92.4	98.6	(6.2) pts
North America Commercial Lines AYCR, as adjusted	91.2	97.4	(6.2)
North America Personal Insurance AYCR, as adjusted	100.1	104.8	(4.7)
International AYCR	90.2	92.1	(1.9)
International Commercial Lines AYCR, as adjusted	86.9	90.6	(3.7)
International Personal Insurance AYCR, as adjusted	94.0	93.5	0.5

General Insurance

- Net premiums written in the second quarter of 2021 increased 24% (20% on a constant dollar basis) to \$6.9 billion from the prior year quarter partially driven by strong North America Commercial Lines and International Commercial Lines growth of 15% and 17% (10% on a constant dollar basis), respectively, reflecting strong rate improvement, higher renewal retentions and strong new business production. Additionally, North America Personal Insurance net premiums written growth reflects the combined impact of the creation of Syndicate 2019 and cessions placed on AIG's Private Client Group (PCG) business in the prior year quarter and growth in Travel and Warranty business driven by a rebound in travel activity and increased consumer spending. International Personal Insurance net premiums written grew 1% (down 2% on a constant dollar basis) compared to the prior year quarter primarily due to the impact of COVID-19 within the Accident & Health and Personal Auto business as well as remediation in Personal Property, partially offset by growth in the Warranty business.
- Second quarter 2021 APTI was \$1.2 billion, an increase of \$1.0 billion from \$175 million in the prior year quarter due to a significant improvement in underwriting results and higher net investment income. Underwriting income was \$463 million in the second quarter of 2021 compared to an underwriting loss of \$343 million in the prior year quarter, and net investment income increased 41% to \$731 million from the prior year quarter driven by alternative investments. The underwriting income included \$118 million of CATs, compared to \$674 million in the prior year quarter, which included \$458 million of estimated COVID-19 losses. The current period also included favorable net prior year loss reserve development, net of reinsurance (PYD) of \$51 million, including \$49 million of favorable amortization from the Adverse Development Cover (ADC), which was lower by \$23 million compared to the prior year quarter.
- General Insurance continued to generate improved underwriting results, with a combined ratio of 92.5, a 13.5 point decrease from 106.0 in the prior year quarter, driven by both Commercial Lines and Personal Insurance. The improvement reflects significantly lower CATs and overall strong underwriting results driven by improvements to both the loss and expense ratios of 11.3 points and 2.2 points, respectively. The General Insurance accident year combined ratio, as adjusted, was 91.1, an improvement of 3.8 points from the prior year quarter, and was comprised of a 59.9 accident year loss ratio, as adjusted*, and an expense ratio of 31.2. The General Insurance accident year loss ratio improved by 1.6 points reflecting commercial underwriting actions previously taken to improve business mix and quality of the portfolio. The General Insurance total expense ratio improved 2.2 points from the prior year

quarter and was comprised of an acquisition ratio of 19.1 and general operating expense (GOE) ratio of 12.1. General Insurance GOE decreased 2% (4% on a constant dollar basis) to \$753 million compared to the prior year quarter reflecting continued expense discipline and benefits from AIG 200.

- Commercial Lines underwriting results continued to show strong improvement due to improved business mix and top-line growth along with continued rate increases that drove better General Insurance underwriting results. The accident year combined ratio, as adjusted, for North America Commercial Lines improved 6.2 points to 91.2 and for International Commercial Lines improved 3.7 points to 86.9.
- Personal Insurance underwriting results also improved driven by North America. The North America Personal Insurance accident year combined ratio, as adjusted, improved 4.7 points to 100.1 compared to the prior year quarter due to changes in business mix driven by changes to AIG's PCG business and rebound in travel insurance premiums. The International Personal Insurance accident year combined ratio, as adjusted, increased 0.5 points to 94.0 reflecting 1.9 points increase in the accident year loss ratio, as adjusted, to 54.0 compared to the prior year quarter, partially offset by a 1.4 point improvement in the expense ratio to 40.0.

LIFE AND RETIREMENT

(\$ in millions, except as indicated)	Three Months Ended		
	June 30,		
	2021	2020	Change
Adjusted pre-tax income (loss)	\$ 1,124	\$ 895	26 %
Individual Retirement	617	549	12
Group Retirement	347	214	62
Life Insurance	20	2	NM
Institutional Markets	140	130	8
Premiums & fees	\$ 2,417	\$ 2,350	3 %
Individual Retirement	273	243	12
Group Retirement	134	103	30
Life Insurance	887	868	2
Institutional Markets	1,123	1,136	(1)
Premiums and deposits	\$ 9,035	\$ 5,718	58 %
Individual Retirement	3,978	1,794	122
Group Retirement	2,255	1,670	35
Life Insurance	1,161	1,119	4
Institutional Markets	1,641	1,135	45
Net flows	\$ (306)	\$ (1,744)	82 %
Individual Retirement*	(77)	(1,501)	95
Group Retirement	(229)	(243)	6
Net investment income, APTI basis	\$ 2,376	\$ 2,099	13 %

Return on adjusted segment common equity 16.4 % 13.5 % 2.9 pts

* Includes Retail Mutual Funds

Life and Retirement

- Life and Retirement reported APTI of \$1.1 billion for the second quarter of 2021, up 26% from \$895 million in the prior year quarter; all segments posted higher APTI compared to the prior year. The increase was due to favorable impacts from equity market performance, which drove higher alternative investment returns, principally in private equity, and higher fee income; partially offset by higher deferred policy acquisition costs and sales inducement assets amortization and reserves. Additionally, second quarter 2021 results had lower favorable short-run impacts from interest rates and credit spreads as the prior year quarter included a large yield enhancement while the current year quarter included higher call and tender income and commercial mortgage loan prepayments. Life Insurance APTI of \$20 million, up \$18 million from \$2 million in the prior year quarter is driven, in part, due to lower COVID-19 mortality in the second quarter of 2021.
- Premiums were \$1.6 billion, flat compared to the prior year quarter driven by growth in International Life and Pension Risk Transfer premiums, partially offset by lower Structured Settlement premiums. Premiums and deposits increased 58%, or \$3.3 billion, from the prior year quarter to \$9.0 billion due to the recovery from broad industry-wide sales disruption resulting from COVID-19. In addition, Institutional Markets deposits grew driven by a large Guaranteed Investment Contract issuance in the second quarter of 2021.
- Individual and Group Retirement net flows were negative \$306 million, a significant improvement of \$1.4 billion from the prior year quarter. Excluding Retail Mutual Funds, Individual Retirement recorded net inflows of \$556 million compared to net outflows of \$684 million in the prior year quarter, largely due to recovery from the broad industry-wide sales disruption resulting from COVID-19. The sale of certain AIG Life and Retirement retail mutual funds business to Touchstone was completed on July 16, 2021. In the Group Retirement business, net flows were negative \$229 million, slightly better than the negative \$243 million in the prior year quarter reflecting higher group acquisition deposits, partially offset by higher surrenders and withdrawals.

OTHER OPERATIONS

	Three Months Ended		
	June 30,		
(\$ in millions)	2021	2020	Change
Corporate and Other	\$ (617)	\$ (248)	(149) %
Asset Management	101	(84)	NM
Adjusted pre-tax loss before consolidation and eliminations	(516)	(332)	(55)
Consolidation and eliminations	(94)	53	NM
Adjusted pre-tax loss	\$ (610)	\$ (279)	(119) %

Other Operations

- Second quarter APTL was \$610 million, including \$94 million of reductions from consolidation and eliminations, compared to APTL of \$279 million, including a \$53 million addition from consolidation and eliminations, in the prior year quarter. The increase in consolidation and eliminations APTL reflects the impact of consolidated investment entities.
- Before consolidation and eliminations, the increase in APTL primarily reflects the impact of Fortitude, which was sold and deconsolidated in the second quarter of 2020 and had APTI of \$96 million in the second quarter of 2020. Additionally, second quarter 2021 results also include net unfavorable PYD of \$65 million, primarily related to Blackboard and other run-off businesses, and increased incentive program accrual to reflect strong performance to date.

LIFE AND RETIREMENT SEPARATION

- On October 26, 2020, AIG announced its intention to separate its Life and Retirement business from AIG.
- On July 14, 2021, AIG and Blackstone announced that they have reached a definitive agreement for Blackstone to acquire a 9.9 percent equity stake in SAFG Retirement Services, Inc. (SAFG), which is the holding company for AIG's Life and Retirement business for \$2.2 billion in an all cash transaction, subject to adjustment if the final pro forma adjusted book value is greater or lesser than the target pro forma adjusted book value. As part of this agreement, AIG also agreed to enter into a long-term strategic asset management relationship with Blackstone to manage an initial \$50 billion of Life and Retirement's existing investment portfolio upon closing of the equity investment, with that amount increasing by increments of \$8.5 billion per year for the next five years beginning in the third or fourth quarter of 2022, for an aggregate of \$92.5 billion. Following the closing of the transaction, Blackstone will be entitled to designate one member of the board of directors of the Life and Retirement holding company, which will consist of 11 directors. Pursuant to the definitive agreement, Blackstone will be required to hold its ownership interest in SAFG following the completion of the separation of the Life and Retirement business, subject to exceptions permitting Blackstone to sell 25%, 67% and 75% of its shares after the first, second and third anniversaries, respectively, of the initial public offering of SAFG (the IPO), with the transfer restrictions terminating in full on the fifth anniversary of the IPO. In the event that the IPO of SAFG is not completed prior to the second anniversary of the closing of the transaction, Blackstone will have the right to require AIG to undertake the IPO, and in the event that the IPO has not been completed prior to the third anniversary of the closing, Blackstone will have the right to exchange all or a portion of its ownership interest in SAFG for shares of AIG's common stock on the terms set forth in the definitive agreement. These transactions are subject to customary closing conditions, including the expiration or termination of the waiting period under the Hart-Scott-Rodino Antitrust Improvements Act of 1976, and are expected to close in the third quarter of 2021. While we currently believe the IPO is the next step in the separation of the Life and Retirement business from AIG, no assurance can be given regarding the form that future separation transactions may take or the specific

terms or timing thereof, or that a separation will in fact occur. Any separation transaction will be subject to the satisfaction of various conditions and approvals, including approval by the AIG Board of Directors, receipt of insurance and other required regulatory approvals, and satisfaction of any applicable requirements of the Securities and Exchange Commission.

- Additionally, AIG and BREIT, a long-term, perpetual capital vehicle affiliated with Blackstone, announced that they have reached a definitive agreement for BREIT to acquire AIG's interests in a U.S. affordable housing portfolio for approximately \$5.1 billion, subject to certain adjustments, in an all cash transaction. This transaction is subject to customary closing conditions and is expected to close in the fourth quarter of 2021.

CONFERENCE CALL

AIG will host a conference call tomorrow, Friday, August 6, 2021 at 8:30 a.m. ET to review these results. The call is open to the public and can be accessed via a live listen-only webcast in the Investors section of www.aig.com. A replay will be available after the call at the same location.

Additional supplementary financial data is available in the Investors section at www.aig.com.

Certain statements in this press release constitute "forward-looking statements" within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. These projections, goals, assumptions and statements are not historical facts but instead represent only a belief regarding future events, many of which, by their nature, are inherently uncertain and outside AIG's control. These projections, goals, assumptions and statements include statements preceded by, followed by or including words such as "will," "believe," "anticipate," "expect," "intend," "plan," "focused on achieving," "view," "target," "goal" or "estimate." These projections, goals, assumptions and statements may relate to future actions, prospective services or products, future performance or results of current and anticipated services or products, sales efforts, expenses, the outcome of contingencies such as legal proceedings, anticipated organizational, business or regulatory changes, the effect of catastrophes, such as the COVID-19 crisis, and macroeconomic events, anticipated dispositions, monetization and/or acquisitions of businesses or assets, or successful integration of acquired businesses, management succession and retention plans, exposure to risk, trends in operations and financial results.

It is possible that AIG's actual results and financial condition will differ, possibly materially, from the results and financial condition indicated in these projections, goals, assumptions and statements. Factors that could cause AIG's actual results to differ, possibly materially, from those in the specific projections, goals, assumptions and statements include:

- AIG's ability to successfully separate the Life and Retirement business from AIG and the impact any separation may have on AIG, its businesses, employees, contracts and customers;
- AIG's ability to close the transactions announced as part of a strategic partnership with Blackstone;
- changes in market and industry conditions, including the significant global economic downturn, volatility in financial and capital markets, fluctuations in interest rates, prolonged economic recovery and disruptions to AIG's operations driven by COVID-19 and responses thereto, including new or changed governmental policy and regulatory actions;
- the occurrence of catastrophic events, both natural and man-made, including COVID-19, other pandemics, civil unrest and the effects of climate change;
- the adverse impact of COVID-19, including with respect to AIG's business, financial condition and results of operations;
- AIG's ability to effectively execute on AIG 200 transformational programs designed to achieve underwriting excellence, modernization of AIG's operating infrastructure, enhanced user and customer experiences and unification of AIG;
- the impact of potential information technology, cybersecurity or data security breaches, including as a result of cyber-attacks or security vulnerabilities, the likelihood of which may increase due to extended remote business operations as a result of COVID-19;
- disruptions in the availability of AIG's electronic data systems or those of third parties;
- actions by rating agencies with respect to our credit and financial strength ratings;
- AIG's ability to successfully dispose of, monetize and/or acquire businesses or assets or successfully integrate acquired businesses;
- changes to the valuation of AIG's investments;
- changes in judgments concerning the recognition of deferred tax assets and the impairment of goodwill;
- availability and affordability of reinsurance;
- the effectiveness of our risk management policies and procedures, including with respect to our business continuity and disaster recovery plans;
- nonperformance or defaults by counterparties, including Fortitude Reinsurance Company Ltd. (Fortitude Re);
- changes in judgments concerning potential cost-saving opportunities;
- concentrations in AIG's investment portfolios;
- changes to our sources of or access to liquidity;
- changes in judgments or assumptions concerning insurance underwriting and insurance liabilities;
- the effectiveness of strategies to recruit and retain key personnel and to implement effective succession plans;
- the requirements, which may change from time to time, of the global regulatory framework to which AIG is subject;
- significant legal, regulatory or governmental proceedings; and
- such other factors discussed in Part I, Item 2. Management's Discussion and Analysis of Financial Condition and Results of Operations (MD&A) in AIG's Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended June 30, 2021 (which will be filed with the Securities and Exchange Commission), Part I, Item 2. MD&A of the Quarterly Report on Form 10-Q for the quarterly period ended March 31, 2021, and Part I, Item 1A. Risk Factors and Part II, Item 7. MD&A in AIG's Annual Report on Form 10-K for the year ended December 31, 2020.

AIG is not under any obligation (and expressly disclaims any obligation) to update or alter any projections, goals, assumptions or other statements, whether written or oral, that may be made from time to time, whether as a result of new information, future events or otherwise.

COMMENT ON REGULATION G AND NON-GAAP FINANCIAL MEASURES

Throughout this press release, including the financial highlights, AIG presents its financial condition and results of operations in the way it believes will be most meaningful and representative of its business results. Some of the measurements AIG uses are "Non-GAAP financial measures" under Securities and Exchange Commission rules and regulations. GAAP is the acronym for generally accepted accounting principles in the United States. The non-GAAP financial measures AIG presents are listed below and may not be comparable to similarly-named measures reported by other companies. The reconciliations of such measures to the most comparable GAAP measures in accordance with Regulation G are included within the relevant tables attached to this news release or in the Fourth Quarter 2020 Financial Supplement available in the Investors section of AIG's website, www.aig.com.

Book Value per Common Share, Excluding Accumulated Other Comprehensive Income (AOCI) adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Book Value per Common Share) is used to show the amount of AIG's net worth on a per-common share basis after eliminating items that can fluctuate significantly from period to period including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. In addition, AIG adjusts for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets held by AIG in support of Fortitude Re's reinsurance obligations to AIG post deconsolidation of Fortitude Re (Fortitude Re funds withheld assets) since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in these book value per common share metrics. Adjusted Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and DTA (**Adjusted Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

Book Value per Common Share, Excluding Goodwill, Value of Business Acquired (VOBA), Value of Distribution Channel Acquired (VODA), Other Intangible Assets, AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and Deferred Tax Assets (DTA) (Adjusted Tangible Book Value per

Common Share) is used to provide more accurate measure of the realizable value of shareholder on a per-common share basis. Adjusted Tangible Book Value per Common Share is derived by dividing Total AIG common shareholders' equity, excluding intangible assets, AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets, and DTA (**Adjusted Tangible Common Shareholders' Equity**), by total common shares outstanding.

AIG Return on Common Equity – Adjusted After-tax Income Excluding AOCI adjusted for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets and DTA (Adjusted Return on Common Equity) is used to show the rate of return on common shareholders' equity. AIG believes this measure is useful to investors because it eliminates items that can fluctuate significantly from period to period, including changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio, foreign currency translation adjustments and U.S. tax attribute deferred tax assets. This measure also eliminates the asymmetrical impact resulting from changes in fair value of AIG's available for sale securities portfolio wherein there is largely no offsetting impact for certain related insurance liabilities. In addition, AIG adjusts for the cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets since these fair value movements are economically transferred to Fortitude Re. AIG excludes deferred tax assets representing U.S. tax attributes related to net operating loss carryforwards and foreign tax credits as they have not yet been utilized. Amounts for interim periods are estimates based on projections of full-year attribute utilization. As net operating loss carryforwards and foreign tax credits are utilized, the portion of the DTA utilized is included in Adjusted Return on Common Equity. Adjusted Return on Common Equity is derived by dividing actual or annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders by average Adjusted Common Shareholders' Equity.

General Insurance and Life and Retirement Adjusted Segment Common Equity is based on segment equity adjusted for the attribution of debt and preferred stock (Segment Common Equity) and is consistent with AIG's Adjusted Common Shareholders' Equity definition.

General Insurance and Life and Retirement Return on Adjusted Segment Common Equity – Adjusted After-tax Income (Return on Adjusted Segment Common Equity) is used to show the rate of return on Adjusted Segment Common Equity. Return on Adjusted Segment Common Equity is derived by dividing actual or annualized Adjusted After-tax Income by Average Adjusted Segment Common Equity.

Adjusted After-tax Income Attributable to General Insurance and Life and Retirement is derived by subtracting attributed interest expense, income tax expense and attributed dividends on preferred stock from APTI. Attributed debt and the related interest expense and dividends on preferred stock are calculated based on AIG's internal allocation model. Tax expense or benefit is calculated based on an internal attribution methodology that considers among other things the taxing jurisdiction in which the segments conduct business, as well as the deductibility of expenses in those jurisdictions.

Adjusted Revenues exclude Net realized gains (losses), income from non-operating litigation settlements (included in Other income for GAAP purposes) and changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits (included in Net investment income for GAAP purposes). Adjusted revenues is a GAAP measure for AIG's segments.

AIG uses the following operating performance measures because AIG believes they enhance the understanding of the underlying profitability of continuing operations and trends of AIG's business segments. AIG believes they also allow for more meaningful comparisons with AIG's insurance competitors. When AIG uses these measures, reconciliations to the most comparable GAAP measure are provided on a consolidated basis.

Adjusted Pre-tax Income (APTI) is derived by excluding the items set forth below from income from continuing operations before income tax. This definition is consistent across AIG's segments. These items generally fall into one or more of the following broad categories: legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; adjustments to enhance transparency to the underlying economics of transactions; and measures that AIG believes to be common to the industry. APTI is a GAAP measure for AIG's segments. Excluded items include the following:

- changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits;
- changes in benefit reserves and deferred policy acquisition costs (DAC), value of business acquired (VOBA), and sales inducement assets (SIA) related to net realized gains and losses;
- changes in the fair value of equity securities;
- net investment income on Fortitude Re funds withheld assets;
- following deconsolidation of Fortitude Re, net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets;
- loss (gain) on extinguishment of debt;
- all net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication. Earned income on such economic hedges is reclassified from net realized gains and losses to specific APTI line items based on the economic risk being hedged (e.g. net investment income and interest credited to policyholder account balances);
- income or loss from discontinued operations;
- net loss reserve discount benefit (charge);
- pension expense related to a one-time lump sum payment to former employees;
- income and loss from divested businesses;
- non-operating litigation reserves and settlements;
- restructuring and other costs related to initiatives designed to reduce operating expenses, improve efficiency and simplify AIG's organization;
- the portion of favorable or unfavorable prior year reserve development for which AIG has ceded the risk under retroactive reinsurance agreements and related changes in amortization of the deferred gain;
- integration and transaction costs associated with acquiring or divesting businesses;
- losses from the impairment of goodwill; and
- non-recurring costs associated with the implementation of non-ordinary course legal or regulatory changes or changes to accounting principles.

Adjusted After-tax Income attributable to AIG common shareholders (AATI) is derived by excluding the tax effected APTI adjustments described above, dividends on preferred stock, and the following tax items from net income attributable to AIG:

- deferred income tax valuation allowance releases and charges;
- changes in uncertain tax positions and other tax items related to legacy matters having no relevance to AIG's current businesses or operating performance; and
- net tax charge related to the enactment of the Tax Cuts and Jobs Act (Tax Act);

and by excluding the net realized gains (losses) and other charges from noncontrolling interests.

See page 15 for the reconciliation of Net income attributable to AIG to Adjusted After-tax Income Attributable to AIG.

Ratios: AIG, along with most property and casualty insurance companies, uses the loss ratio, the expense ratio and the combined ratio as measures of underwriting performance. These ratios are relative measurements that describe, for every \$100 of net premiums earned, the amount of losses and loss adjustment expenses (which for General Insurance excludes net loss reserve discount), and the amount of other underwriting expenses that would be incurred. A combined ratio of less than 100 indicates underwriting income and a combined ratio of over 100 indicates an underwriting loss. AIG's ratios are calculated using the relevant segment information calculated under GAAP, and thus may not be comparable to similar ratios calculated for regulatory reporting purposes. The underwriting environment varies across countries and products, as does the degree of litigation activity, all of which affect such ratios. In addition, investment returns, local taxes, cost of capital, regulation, product type and competition can have an effect on pricing and consequently on profitability as reflected in underwriting income and associated ratios.

Accident year loss and Accident year combined ratios, as adjusted: both the accident year loss and accident year combined ratios, as adjusted, exclude catastrophe losses and related reinstatement premiums, prior year development, net of premium adjustments, and the impact of reserve discounting. Natural catastrophe losses are generally weather or seismic events having a net impact on AIG in excess of \$10 million each and man-made catastrophe losses, such as terrorism and civil disorders that exceed the \$10 million threshold. AIG believes that as adjusted ratios are meaningful measures of AIG's underwriting results on an ongoing basis as they exclude catastrophes and the impact of reserve discounting which are outside of management's control. AIG also excludes prior year development to provide transparency related to current accident year results.

Underwriting ratios are computed as follows:

a) Loss ratio = Loss and loss adjustment expenses incurred ÷ Net premiums earned (NPE)

b) Acquisition ratio = Total acquisition expenses ÷ NPE

c) General operating expense ratio = General operating expenses ÷ NPE

d) Expense ratio = Acquisition ratio + General operating expense ratio

e) Combined ratio = Loss ratio + Expense ratio

f) Catastrophe losses (CATs) and reinstatement premiums = [Loss and loss adjustment expenses incurred – (CATs)] ÷ [NPE +/-(-) CYRIPs] – Loss ratio

Accident year loss ratio, as adjusted (AYLR) = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/-(-) Reinstatement premiums related to catastrophes (CYRIPs) +/-(-) RIPs related to prior year catastrophes (PYRIPs) + (Additional) returned premium related to PYD on loss sensitive business ((AP)RP) + Adjustment for ceded premiums under reinsurance contracts related to prior accident years]

h) Accident year combined ratio, as adjusted = AYLR + Expense ratio

i) Prior year development net of (additional) return premium related to PYD on loss sensitive business = [Loss and loss adjustment expenses incurred – CATs – PYD] ÷ [NPE +/-(-) CYRIPs +/-(-) PYRIPs + (AP)RP] – Loss ratio – CAT ratio

Premiums and deposits: includes direct and assumed amounts received and earned on traditional life insurance policies, group benefit policies and life-contingent payout annuities, as well as deposits received on universal life, investment-type annuity contracts, Federal Home Loan Bank (FHLB) funding agreements and mutual funds.

Results from discontinued operations are excluded from all of these measures.

American International Group, Inc. (AIG) is a leading global insurance organization. AIG member companies provide a wide range of property casualty insurance, life insurance, retirement solutions, and other financial services to customers in more than 80 countries and jurisdictions. These diverse offerings include products and services that help businesses and individuals protect their assets, manage risks and provide for retirement security. AIG common stock is listed on the New York Stock Exchange.

Additional information about AIG can be found at www.aig.com | YouTube: www.youtube.com/aig | Twitter: @AIGinsurance www.twitter.com/AIGinsurance | LinkedIn: www.linkedin.com/company/aig. These references with additional information about AIG have been provided as a convenience, and the information contained on such websites is not incorporated by reference into this press release.

AIG is the marketing name for the worldwide property-casualty, life and retirement, and general insurance operations of American International Group, Inc. For additional information, please visit our website at www.aig.com. All products and services are written or provided by subsidiaries or affiliates of American International Group, Inc. Products or services may not be available in all countries and jurisdictions, and coverage is subject to underwriting requirements and actual policy language. Non-insurance products and services may be provided by independent third parties. Certain property-casualty coverages may be provided by a surplus lines insurer. Surplus lines insurers do not generally participate in state guaranty funds, and insureds are therefore not protected by such funds.

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income

	Three Months Ended June 30,								
	2021				2020				
	Pre-tax		Noncontrolling Tax Effect Interests ^(d)		Pre-tax		Noncontrolling Tax Effect Interests ^(d)		
								After-tax	
Pre-tax income (loss)/net income (loss), including noncontrolling									
interests	\$ 147	\$ (3)	\$ -		\$ 150	\$ (9,661)	\$ (1,896)	\$ -	\$ (7,766)
Noncontrolling interests	-	-	(51)		(51)	-	-	(162)	(162)
Pre-tax income (loss)/net income (loss) attributable to AIG	147	(3)	(51)		99	(9,661)	(1,896)	(162)	(7,928)
Dividends on preferred stock					8				8
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders					91				(7,936)

Adjustments:

Changes in uncertain tax positions and other tax adjustments ^(a)	-	(35)	-	35	-	(206)	-	206
Deferred income tax valuation allowance releases ^(b)	-	25	-	(25)	-	183	-	(183)
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(13)	(2)	-	(11)	(16)	(4)	-	(12)
Changes in benefit reserves and DAC, VOBA and								
SIA related to net realized gains (losses)	(120)	(25)	-	(95)	(255)	(53)	-	(202)
Changes in the fair value of equity securities	13	3	-	10	(56)	(12)	-	(44)
Loss on extinguishment of debt	106	23	-	83	-	-	-	-
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(507)	(107)	-	(400)	(116)	(24)	-	(92)
Net realized gains on Fortitude Re funds withheld assets	(173)	(37)	-	(136)	(96)	(20)	-	(76)
Net realized losses on Fortitude Re funds withheld								
embedded derivative	2,056	431	-	1,625	837	176	-	661
Net realized losses ^(c)	59	17	-	42	1,607	367	-	1,240
Loss from discontinued operations	-	-	-	-	-	-	-	1
Loss from divested businesses	1	-	-	1	8,412	1,657	-	6,755
Non-operating litigation reserves and settlements	-	-	-	-	-	-	-	-
Favorable prior year development and related								
amortization changes ceded under retroactive reinsurance agreements	(65)	(14)	-	(51)	(33)	(7)	-	(26)
Net loss reserve discount charge	22	5	-	17	16	3	-	13
Integration and transaction costs associated with acquiring or								
divesting businesses	35	7	-	28	4	1	-	3
Restructuring and other costs	126	26	-	100	134	28	-	106
Non-recurring costs related to regulatory or accounting changes	21	4	-	17	14	3	-	11
Noncontrolling interests primarily related to net realized								
gains (losses) of Fortitude Holdings' standalone results ^(d)	-	-	-	-	-	-	136	136
Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable								
to AIG common shareholders	\$ 1,708	\$ 318	\$ (51)	\$ 1,331	\$ 791	\$ 196	\$ (26)	\$ 561

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Adjusted Pre-tax and After-tax Income (continued)

Six Months Ended June 30,

(losses) of Fortitude Holdings' standalone results^(d) - - - - - 59 59

Adjusted pre-tax income/Adjusted after-tax income attributable

to AIG common shareholders \$ 2,964 \$ 590 \$ (105) \$ 2,254 \$ 971 \$ 282 \$ (8) \$ 666

(a) Six months ended June 30, 2021 includes the recent completion of audit activity by the Internal Revenue Service.

(b) Six months ended June 30, 2021 includes an increase in the valuation allowance against a portion of certain tax attribute carryforwards of AIG's U.S. federal consolidated income tax group, as well as net valuation allowance release in certain foreign jurisdictions.

(c) Includes all net realized gains and losses except earned income (periodic settlements and changes in settlement accruals) on derivative instruments used for non-qualifying (economic) hedging or for asset replication and net realized gains and losses on Fortitude Re funds withheld assets.

(d) Prior to June 2, 2020, noncontrolling interests was primarily due to the 19.9 percent investment in Fortitude Group Holdings, LLC (Fortitude Holdings) by an affiliate of The Carlyle Group L.P. (Carlyle), which occurred in the fourth quarter of 2018. Carlyle was allocated 19.9 percent of Fortitude Holdings' standalone financial results through the June 2, 2020 closing date of the sale of a majority of the interests in Fortitude Holdings. Fortitude Holdings' results were mostly eliminated in AIG's consolidated income from continuing operations given that its results arose from intercompany transactions. Noncontrolling interests was calculated based on the standalone financial results of Fortitude Holdings. The most significant component of Fortitude Holdings' standalone results was the change in fair value of the embedded derivatives which changes with movements in interest rates and credit spreads, and which was recorded in net realized gains and losses of Fortitude Holdings. In accordance with AIG's adjusted after-tax income definition, realized gains and losses are excluded from noncontrolling interests. Subsequent to the Majority Interest Fortitude Sale, AIG owns 3.5 percent of Fortitude Holdings and no longer consolidates Fortitude Holdings in its financial statements as of such date. The minority interest in Fortitude Holdings is carried at cost within AIG's Other invested assets, which was \$100 million as of June 30, 2021.

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Summary of Key Financial Metrics

	Three Months Ended June 30, Six Months Ended June 30,					
Income (loss) per common share:	2021	2020	% Inc. (Dec.)	2021	2020	% Inc. (Dec.)
Basic						
Income (loss) from continuing operations	\$ 0.11	\$ (9.15)	NM	% \$ 4.58	\$ (7.11)	NM %
Income from discontinued operations	-	-	NM	-	-	NM
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 0.11	\$ (9.15)	NM	\$ 4.58	\$ (7.11)	NM
Diluted						
Income (loss) from continuing operations	\$ 0.11	\$ (9.15)	NM	\$ 4.53	\$ (7.11)	NM
Income from discontinued operations	-	-	NM	-	-	NM
Net income (loss) attributable to AIG common shareholders	\$ 0.11	\$ (9.15)	NM	\$ 4.53	\$ (7.11)	NM
Adjusted after-tax income attributable to AIG common						
shareholders per diluted share (a)	\$ 1.52	\$ 0.64	137.5	% \$ 2.58	\$ 0.76	239.5 %
Weighted average shares outstanding:						
Basic	862.9	867.0		865.5	870.6	
Diluted (a)	872.9	867.0		874.6	870.6	

(a) For the three- and six-month periods ended June 30, 2020, because we reported net losses attributable to AIG common shareholders, all common stock equivalents are anti-dilutive

and are therefore excluded from the calculation of diluted shares and diluted per share amounts. However, because we reported adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders, the calculation of adjusted after-tax income per diluted share attributable to AIG common shareholders includes 3,226,882 dilutive shares and 3,939,732 dilutive shares for the three- and six-month periods ended June 30, 2020, respectively.

Reconciliation of Book Value per Common Share

As of period end:	June 30, 2021	March 31, 2021	December 31, 2020	June 30, 2020			
Total AIG shareholders' equity	\$ 66,083	\$ 62,679	\$ 66,362	\$ 62,234			
Less: Preferred equity	485	485	485	485			
Total AIG common shareholders' equity (a)	65,598	62,194	65,877	61,749			
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	10,209	6,466	13,511	9,169			
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re							
Funds Withheld Assets	3,341	2,246	4,657	4,215			
Less: Deferred tax assets (DTA)*	7,374	7,539	7,907	8,643			
Total adjusted AIG common shareholders' equity (b)	\$ 51,356	\$ 50,435	\$ 49,116	\$ 48,152			
Less: Intangible assets:							
Goodwill	4,083	4,079	4,074	3,983			
Value of business acquired	121	123	126	121			
Value of distribution channel acquired	477	487	497	517			
Other intangibles	305	309	319	323			
Total intangible assets	4,986	4,998	5,016	4,944			
Total adjusted tangible common shareholders' equity (c)	\$ 46,370	\$ 45,437	\$ 44,100	\$ 43,208			
Total common shares outstanding (d)	854.9	859.4	861.6	861.4			
	June 30,	March 31,	% Inc.	December 31,	% Inc.	June 30,	% Inc.
As of period end:	2021	2020	(Dec.)	2020	(Dec.)	2020	(Dec.)
Book value per common share (a÷d)	\$ 76.73	\$ 72.37	6.0 %	\$ 76.46	0.4 %	\$ 71.68	7.0 %
Adjusted book value per common share (b÷d)	60.07	58.69	2.4	57.01	5.4	55.90	7.5
Adjusted tangible book value per common share (c÷d)	54.24	52.87	2.6	51.18	6.0	50.16	8.1

Reconciliation of Return On Common Equity

	Three Months Ended June 30,	
	2021	2020
Actual or Annualized net income attributable to AIG common shareholders (a)	\$ 364	\$ (31,744)
Actual or Annualized adjusted after-tax income attributable to AIG common shareholders (b)	\$ 5,324	\$ 2,244

Average AIG common shareholders' equity (c)	\$ 63,896		\$ 60,719	
Less: Average AOCI	8,338		4,088	
Add: Average cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re Funds Withheld Assets	2,794		2,108	
Less: Average DTA*	7,457		8,589	
Average adjusted common shareholders' equity (d)	\$ 50,895		\$ 50,150	
ROCE (a÷c)	0.6	%	NM	
Adjusted return on common equity (b÷d)	10.5	%	4.5	%

* Represents deferred tax assets only related to U.S. net operating loss and foreign tax credit carryforwards on a U.S. GAAP basis and excludes other balance sheet deferred tax assets and liabilities.

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliation of Net Investment Income

	Three Months Ended	
	June 30,	
	2021	2020
Net investment income per Consolidated Statements of Operations	\$ 3,675	\$ 3,366
Changes in fair value of securities used to hedge guaranteed living benefits	(13)	(14)
Changes in the fair value of equity securities	13	(56)
Net investment income on Fortitude Re funds withheld assets	(507)	(116)
Net realized gains (losses) related to economic hedges and other	14	18
Total Net investment income - APTI Basis	\$ 3,182	\$ 3,198
Less: Impact of Fortitude Re prior to deconsolidation	-	(378)
Total Net investment income - APTI Basis, excluding the impact of Fortitude		
Re for all periods, including periods prior to deconsolidation	\$ 3,182	\$ 2,820
Net Premiums Written - Change in Constant Dollar		

Three Months Ended June 30, 2021

General Insurance	General Insurance	International - Commercial Lines	International - Personal Insurance
--------------------------	--------------------------	---	---

Foreign exchange effect on worldwide premiums:

Change in net premiums written

Increase (decrease) in original currency	20	%	10	%	(2)%
Foreign exchange effect	4		7		3	
Increase (decrease) as reported in U.S. dollars	24	%	17	%	1	%

General Operating Expenses - Change in Constant Dollar

Three Months Ended

General Insurance

June 30, 2021

Foreign exchange effect on general operating expenses:

Change in general operating expenses

Increase (decrease) in original currency	(4)%
Foreign exchange effect	2	
Increase (decrease) as reported in U.S. dollars	(2)%

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Accident Year Loss and Accident Year Combined Ratios, as Adjusted

Three Months Ended

June 30,

2021 **2020**

Total General Insurance

Combined ratio	92.5		106.0	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.1)	(11.9)
Prior year development	0.7		0.8	
Accident year combined ratio, as adjusted	91.1		94.9	

North America

Combined ratio	93.7		117.8	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.9)	(20.2)
Prior year development	1.6		1.0	

Accident year combined ratio, as adjusted	92.4		98.6	
North America - Commercial Lines				
Combined ratio	93.0		119.4	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(2.9)	(23.4)
Prior year development	1.1		1.4	
Accident year combined ratio, as adjusted	91.2		97.4	
North America - Personal Insurance				
Combined ratio	98.1		108.7	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(3.0)	(2.6)
Prior year development	5.0		(1.3)
Accident year combined ratio, as adjusted	100.1		104.8	
International				
Combined ratio	91.8		97.1	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(1.5)	(5.7)
Prior year development	(0.1)	0.7	
Accident year combined ratio, as adjusted	90.2		92.1	
International - Commercial Lines				
Combined ratio	88.7		99.5	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(1.4)	(11.4)
Prior year development	(0.4)	2.5	
Accident year combined ratio, as adjusted	86.9		90.6	
International - Personal Insurance				
Loss ratio	55.2		52.9	
Catastrophe losses and reinstatement premiums	(1.6)	0.4	
Prior year development	0.4		(1.2)
Accident year loss ratio, as adjusted	54.0		52.1	
Combined ratio	95.2		94.3	

Catastrophe losses and reinstatement premiums	(1.6)	0.4
Prior year development	0.4		(1.2)
Accident year combined ratio, as adjusted	94.0		93.5

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliation of General Insurance Return on Adjusted Segment Common Equity

	Three Months Ended	
	June 30,	
	2021	2020
Adjusted pre-tax income	\$ 1,194	\$ 175
Interest expense on attributed financial debt	147	142
Adjusted pre-tax income including attributed interest expense	1,047	33
Income tax expense	263	9
Adjusted after-tax income	784	24
Dividends declared on preferred stock	3	3
Adjusted after-tax income attributable to common shareholders	\$ 781	\$ 21
Ending adjusted segment common equity	\$ 25,473	\$ 25,195
Average adjusted segment common equity	\$ 25,369	\$ 25,065
Return on adjusted segment common equity	12.3 %	0.3 %
Total segment shareholder's equity	\$ 26,308	\$ 25,403
Less: Preferred equity	197	194
Total segment common equity	26,111	25,209
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	849	309
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	211	295
Total adjusted segment common equity	\$ 25,473	\$ 25,195

Reconciliation of Life and Retirement Return on Adjusted Segment Common Equity

Three Months Ended

June 30,

2021 2020

Adjusted pre-tax income	\$ 1,124	\$ 895
Interest expense on attributed financial debt	74	68
Adjusted pre-tax income including attributed interest expense	1,050	827
Income tax expense	211	165
Adjusted after-tax income	839	662
Dividends declared on preferred stock	2	2
Adjusted after-tax income attributable to common shareholders	\$ 837	\$ 660
Ending adjusted segment common equity	\$ 20,689	\$ 19,101
Average adjusted segment common equity	\$ 20,458	\$ 19,625
Return on adjusted segment common equity	16.4	% 13.5 %
Total segment shareholder's equity	\$ 29,558	\$ 26,712
Less: Preferred equity	139	127
Total segment common equity	29,419	26,585
Less: Accumulated other comprehensive income (AOCI)	11,860	11,332
Add: Cumulative unrealized gains and losses related to Fortitude Re funds withheld assets	3,130	3,848
Total adjusted segment common equity	\$ 20,689	\$ 19,101

American International Group, Inc.

Selected Financial Data and Non-GAAP Reconciliation (continued)

(\$ in millions, except per common share data)

Reconciliations of Premiums and Deposits

Three Months Ended

June 30,

2021

2020

Individual Retirement:

Premiums	\$ 32	\$ 38
Deposits	3,949	1,759
Other	(3)	(3)
Total premiums and deposits	\$ 3,978	\$ 1,794

Group Retirement:

Premiums	\$ 4	\$ 3
Deposits	2,251	1,667
Other	-	-
Total premiums and deposits	\$ 2,255	\$ 1,670

Life Insurance:

Premiums	\$ 532	\$ 491
Deposits	409	421
Other	220	207
Total premiums and deposits	\$ 1,161	\$ 1,119

Institutional Markets:

Premiums	\$ 1,077	\$ 1,090
Deposits	559	39
Other	5	6
Total premiums and deposits	\$ 1,641	\$ 1,135

Total Life and Retirement:

Premiums	\$ 1,645	\$ 1,622
Deposits	7,168	3,886
Other	222	210
Total premiums and deposits	\$ 9,035	\$ 5,718

View source version on [businesswire.com](https://www.businesswire.com/news/home/20210805005948/en/): <https://www.businesswire.com/news/home/20210805005948/en/>

Quentin McMillan (Investors): quentin.mcmillan@aig.com

Claire Talcott (Media): claire.talcott@aig.com

Source: American International Group, Inc.